

令和 6年度（5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	拠点性を発揮できる都市機能の充実		課(室)名	道路整備課
	施策	拠点性を高める道路ネットワークの整備	電話番号	087-839-2516	
	基本事業	集約拠点間のアクセスを向上させる道路ネットワークの強化	事業実施主体	市	
	事務事業	街路事業（道路整備課分）	事業期間	平成28年度～令和5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	都市交通における最も基幹的施設である都市計画道路の整備を推進し、利便性・安全性・快適性に優れた交通ネットワークの構築、円滑な道路交通の確保、及び豊かな公共空間を備えた良好な市街地の形成を図ることにより、安全で快適な都市生活と機能的な都市活動、集約型都市構造の構築に寄与するものである。				
6年度概要	高松海岸線（玉藻工区） 木太鬼無線（三条工区） 公園東門線 郷東檀紙西線	高松海岸線（本町工区） 朝日町仏生山線 香西東町香西南町線 県施行負担金ほか			
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の種類	インフラ・施設等整備	

【事業の目的】

対象（何を）	対象施設：都市計画道路 対象者：道路利用者（歩行者・自転車利用者、自動車利用者）及び道路周辺住民
意図（どのような状態にしたいか）	利便性・安全性・快適性に優れた道路交通ネットワークの整備を促進し、集約型都市構造の構築に寄与する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R3	R4	R5	R6	中期目標 R5
単年度都市計画道路整備延長	m	512	900	1,041	220	220

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R3	R4	R5	R6	中期目標 R5
成果指標	都市計画道路整備率	%	目標値	86.4	86.5	86.6	86.7	86.6
	実績値	87.2	88.4	88.9				
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 朝日町仏生山線の事業促進など、都市計画道路の整備を進め、目標を達成できた。 (目標達成度)					(達成度) 102.7% 35点		
	成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R3	R4	R5	R6
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)			(達成度)				

【コストの推移】

指標名	単位	令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）
トータルコスト	[千円]	1,060,482	896,541	413,129	498,624
（事業費）	[千円]	992,532	812,720	328,827	414,322
（職員人件費）	[千円]	67,950	83,821	84,302	84,302

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

高松海岸線（玉藻工区）及びその他の路線については継続して整備を進めており、計画的に事業進捗を図る必要がある。また、木太鬼無線（三条工区）等については用地買収を行っており、引き続き財源を確保し、計画的に事業を進めていく必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

今後は、木太鬼無線（三条工区）ほか5路線について計画的に整備を進め、繰越額を縮減する。一方、国費等の財源を確保するため、国への要望を強化していく。

令和 6年度（5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	拠点性を発揮できる都市機能の充実		課(室)名	都市計画課
	施策	拠点性を高める道路ネットワークの整備	電話番号	087-839-2455	
	基本事業	集約拠点間のアクセスを向上させる道路ネットワークの強化	事業実施主体	市	
	事務事業	街路事業（都市計画課分）	事業期間	平成30年度～令和5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	前回の都市計画道路網の見直しから10年以上が経過しており、都市再生特別措置法に基づく「立地適正化計画」や地域公共交通活性化再生法に基づく「地域公共交通網形成計画」の制度化等により、公共交通を基軸とした集約型都市（コンパクト・クラス・ネットワーク）の構築に向けた取組がより一層求められており、新県立体育館や新駅整備など、新規事業への対応も含めた都市計画道路ネットワークとしての必要性に変化が生じているため、都市計画道路網再編を実施する。				
6年度概要	道路整備プログラム検討業務				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等整備	

【事業の目的】

対象（何を）	対象施設：都市計画道路 対象者：高松市民、交通事業者
意図（どのような状態にしたいか）	都市計画道路の新設路線及び未着手路線の必要性や課題を評価し、新設、計画の存続、変更、廃止等の方向性と今後の整備優先順位等について明確化する。 また、全国道路街路交通情勢調査の補充調査として、交通量調査を行う。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
委員会開催回数	回	7	8	8	0	10

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
計画策定までの進捗率	%	目標値	100	100	100	0	100
		実績値	80	100	100		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 学識経験者を含む都市計画道路網検討委員会を設置し、計8回開催している。令和5年度には、都市計画道路整備プログラムの検討を行い、案をとりまとめた。 （目標達成度）							(達成度) 100.0% 35点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） （目標達成度）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	22,607	11,409	19,564	8,506
（事業費）	〔円〕	14,528	1,904	7,747	0
（職員人件費）	〔円〕	8,079	9,505	11,817	8,506

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

パーソントリップ調査や公共交通利用者のICカードから得られる人の移動情報を活用し、将来の公共交通需要と連動した適正な都市計画道路の配置について検証を行い、令和5年度は、高松市都市計画道路整備プログラムを見直しを行い、案をとりまとめた。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

令和5年度にとりまとめた道路整備プログラム（案）について、関係者と調整、合意形成を図り、策定する。
